

コガタノゲンゴロウ 鞘翅目(コウチュウ目)ゲンゴロウ科
Cybister tripunctatus (Olivier, 1795)

鳥取県：絶滅危惧Ⅰ類(CR + EN)

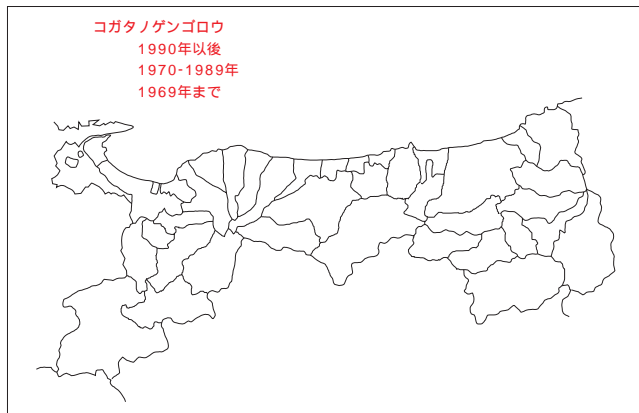
環境省：絶滅危惧Ⅰ類(CR + EN)



鳥取県中部 2001.11.24 / 撮影：遠藤正浩

選定理由：県内の生息地の分断と孤立が進行し、絶滅に瀕している。全国的にも著しく減少しており、本州では過去5年間に確実な採集記録がある地域はすでに5カ所以下。

形態と生態：25mm前後の中型のゲンゴロウで、ゲンゴロウよりもずっと小さく、腹面が黒色であることから区別は容易。生態はゲンゴロウとほぼ同じ。1990年代前半には県中部にかなり良好に生息しており、とくに倉吉市西部から東伯町にかけての丘陵部では個体数も多かった。しかし、



2000年には、最も良好であった生息地で確認されなかったほか、同じ地域を高い精度で調査した市川憲平氏の私信でもここ数年鳥取県内で本種が全く確認できないとのこと、すでに地域的に絶滅に近い可能性もある。県東部では、1990年代前半の2個体の記録を最後に確認例はない。県西部にも生息地が存在したが、ここ数年で姿を消したという。平地の止水域に生息するため、ゲンゴロウよりもさらに人為作用による影響を受けやすかったものと考えられ

る。

分布(県内)：現在，生息が確認できるのは県中部の2カ所のみ。

分布(県外)：本州（秋田県以南），四国，九州，琉球；アジア，アフリカ，オセアニア。

生息環境：平地の止水域で，ヒルムシロやミクリ類などの水草の豊富な池。アシ原を伴っている場合もある。

保護上の留意点：ゲンゴロウの項を参照。現在の生息地

のすべてが農業用ため池であり，水抜き等の影響を受けやすい。また，外来魚の放流を防止するための細心の注意が必要である。

文献

野村幸弘・安藤重敏（1993）ゲンゴロウ・コガタノゲンゴロウ，pp. 144-145. In: 鳥取県のすぐれた自然（動物）.

執筆者：永幡嘉之